研究活性化支援策について

大学全体の研究活性化、ひいては大学の研究力の向上を図ることを目的として、学内研究者の競争的資金の獲得に向けた支援を実施する。

令和4年度支援メニュー	概 要
1.競争的資金獲得支援経費	上限50万円／人　全教員対象
2.学術論文投稿料等支援経費	49才以下教員 or 学部・大学院生対象：5万円／件　、英文校正支援も可
3.科研費アドバイザリー制度（追加）	学内教員（レビュアー）及び外部添削サービスによる添削・助言
4.科研費申請支援経費	不採択課題中A評定教員への支援
5.複数教員による企業との共同研究支援経費	企業との共同研究に係る経費を支援
6.科研費セミナー実施経費	外部講師による科研費申請のコツ・ポイントを講演
7.共同研究橋渡し制度	産学連携CDによる教員－企業間のマッチング支援
8.研究業績表彰制度：帯畜研究アワード	優れた研究業績を上げた教員を学長表彰
9.申請書閲覧制度	採択された研究計画調書を閲覧
10.グループ研究支援制度	研究グループによる競争的資金申請について、研究費を支援
11.特定プロジェクト重点支援制度	特定プロジェクトについて、学長判断により重点支援
12.競争的資金ヒアリング旅費支援制度	競争的資金における面談審査（2次審査）の旅費を支援
13.部門研究活性化支援制度	部門等に対し組織研究力向上に資する取組に対し重点支援することで、大学全体の研究力の強化を図る。
14.新規採用助教に対する研究支援制度（新設）	新規採用助教を対象に、外部資金獲得のための研究費を支援

1.競争的資金獲得支援経費

予算：2,500千円

■科研費等の競争的資金を獲得できるよう、その準備段階となる研究を奨励するもの。

事業概要

対　象：当該年度内に競争的資金に申請する教員

支援額：上限50万円／件、最大5件　（R3：３件）

備　考：審査時にプレゼンを課す場合あり

応募多数の場合、若手を優先的に採択

事業イメージ

✓ 競争的資金と同様の研究PDCAサイクルを実体験

✓ アドバイザリーや理事面談による指導

得られた研究成果をもとに、**更なる外部資金獲得へ繋げる**

2.学術論文投稿料等支援経費

予算：1,500千円

■論文投稿数増加や研究力向上につながるよう、論文投稿料の一部を支援するもの。

事業概要

対　象：当該年度4月1日現在49歳以下の助教・講師・准教授（特任含）／本学在籍の学部・大学院生

支援額：論文投稿料 or 掲載料 or 英文校正いずれか 5万円／件

最大30件　（R3：教員45件、大学院生3件）

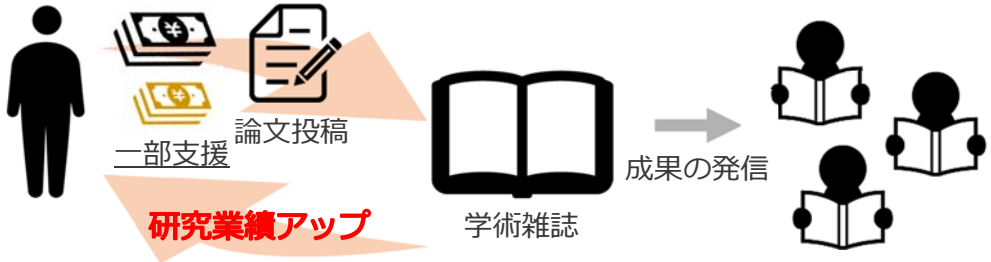
備　考：先着順とする。

１論文に対し、論文投稿・掲載・英文校正いずれかを支援することとし、重複支援はしない。

事業イメージ

✓ 投稿料・掲載料・英文校正による研究費不足を、一部支援

✓ 論文投稿数増加により、教員の研究業績アップ



3.科研費アドバイザリー制度

予算：450千円

■科研費採択実績を持つアドバイザー等が専門分野の知識に基づき添削サービスを提供する。
変更事項：従来の添削業者（ロバスト・ジャパン）に加え、全国URA大学研究支援機構が実施する支援制度も選択可能とする。

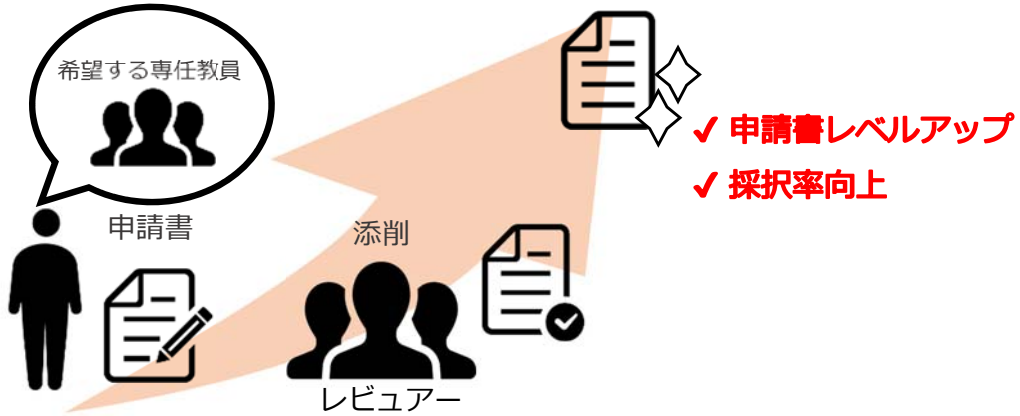
事業概要

対　象：本学全教員

支　援：下記のものによる申請書の添削

・学内アドバイザー（R3：申請４件→採択２件）
・外部添削（ロバスト・ジャパン）
（R3：申請12件→採択2件）
（全国URA大学研究支援機構　（R4新規））

事業イメージ



4.科研費申請支援経費

予算：4,000千円

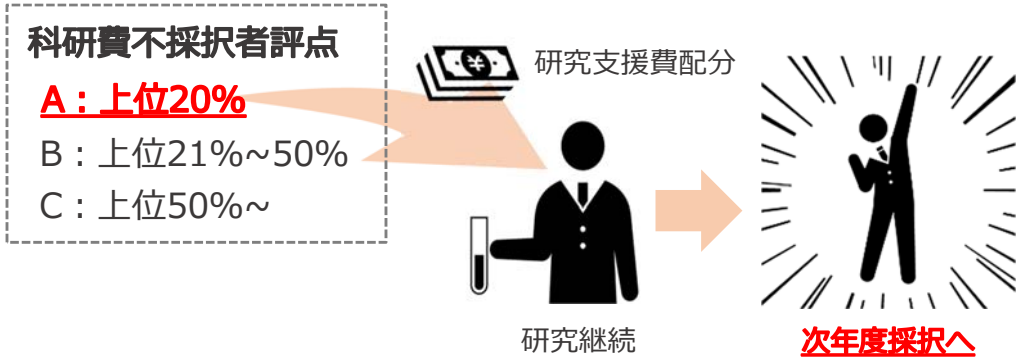
■科研費が不採択であったものの、A評価を受けた教員に対し研究費を支援するもの。

事業概要

対　象：当該年度に申請した科研費が不採択であったが、
・ヒアリングの対象となったもの（基盤S）
・A評点であったもの（上位20%）

支援額：研究種目に応じて、10万円～40万円を支援する。
（R3：支援19件（3,840千円）
（R4.4現在）→ 採択６件（残5件）、採択額 18,720千円

事業イメージ



5.複数教員による企業との共同研究支援経費

予算：500千円

■助教の共同研究参加促進、企業等とのつながり促進のため、教授・准教授が共同研究を行う際に助教が参加できるようチームで実施する共同研究を支援するもの。

事業概要

対　象：教授・准教授を研究代表者とし、その他複数名を含め実施する企業との共同研究契約で、助教を分担者としたもの

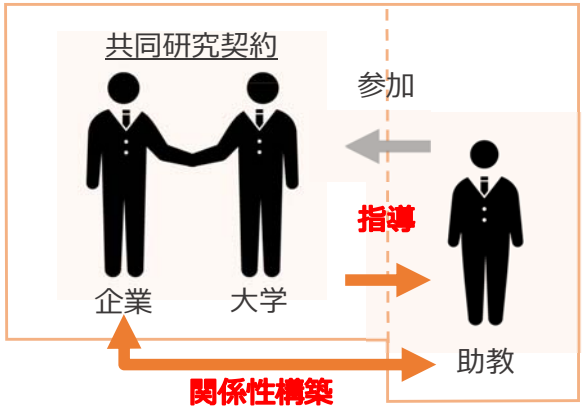
支援額：25万円／件、最大2件　（R3：実績なし）

備　考：分担内容・助教へのサポート体制について審査する。

事業イメージ

✓ 共同研究計画の享受
✓ 調整スキルのアップ
✓ 企業とのつながり構築

✓ 長期的目線での共同研究契約数増加



6.科研費セミナー実施経費

予算：100千円

■科研費審査委員経験者等、経験豊富な外部講師を招聘し、申請書の書き方や審査システム変更点等について講演いただく。

事業概要

対　象：本学全教員

支　援：外部講師等によるオンライン講演を開催
（R3：児島将康・久留米大学教授を講師に実施）

事業イメージ

7.共同研究橋渡し制度

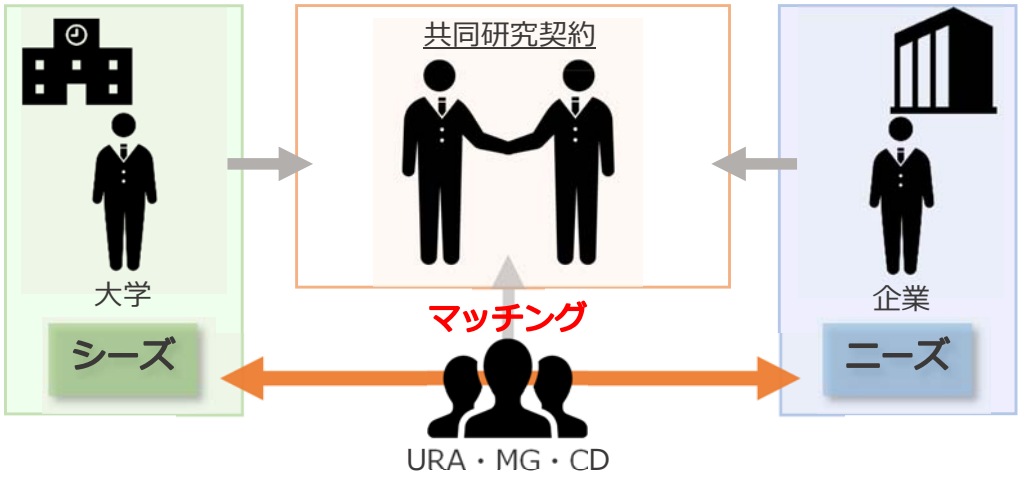
■本学の共同研究受入を促進するため、教員－企業間のマッチングを支援するもの。

事業概要

対　象：本学全教員

支　援：産連URA・MG・CDが
教員シーズと企業ニーズをマッチングし、共同研究の
実施協議から契約締結までをサポート
（R3：１８件）

事業イメージ



8.研究業績表彰制度：帯畜研究アワード

予算：300千円

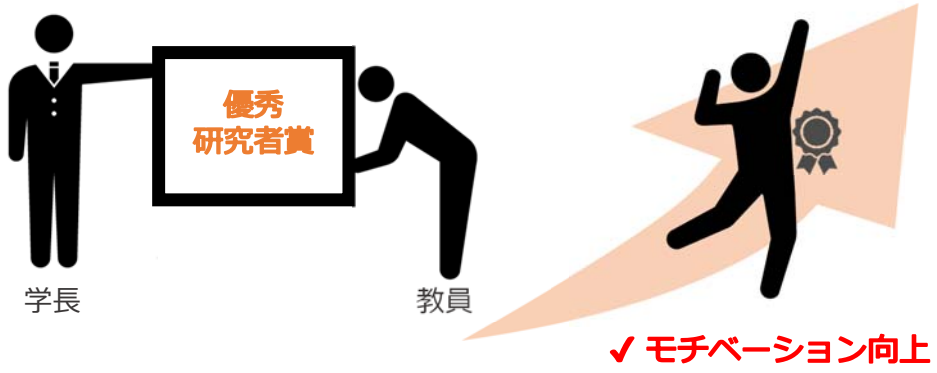
■優れた研究業績を上げた教員を学長表彰し、教員の研究モチベーション向上を図る。

事業概要

対　象：本学全教員

支　援：研究業績を評価し、学長表彰状等を授与
（R3：実績なし）

事業イメージ



9.申請書閲覧制度

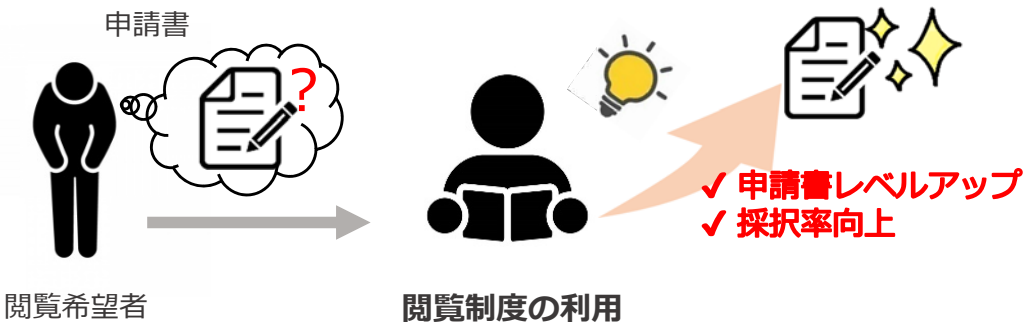
■採択された研究計画調書を閲覧できる制度を導入することで、研究計画調書の書き方の用に供する。

事業概要

対　象：本学に所属し、競争的資金の申請資格を有する教員及び研究員

支　援：過去３年間に本学で採択された研究計画調書のうち、研究者本人（作成者）の承諾が得られたもの（54件）を閲覧希望者に開示する。（R3：４件）

事業イメージ



10.グループ研究支援制度

予算：3,000千円

■研究グループによる申請意欲向上、競争的資金申請数向上を図るため、申請準備段階の研究を支援するもの。

事業概要

対　象：本学専任教員を研究代表者とする研究グループで、当該年度に申請額2,000万円を超える競争的資金に申請するもの

支援額：300万円／件　（R3：１件）

事業イメージ

✓ 準備段階の研究費と申請書添削を手厚くサポート

11.特定プロジェクト重点支援制度

予算：1,500千円

■特定のプロジェクト研究について重点支援することで、当該研究及び産学連携の推進を図る。

事業概要

対　象：本学で実施しているプロジェクト

支　援：学長の判断により、特に支援を必要とする研究に対し、研究費を配分する。（R3：実績なし）

事業イメージ

12.競争的資金ヒアリング旅費支援制度

予算：150千円

■競争的資金における面談審査（2次審査）の旅費を支援するもの。

事業概要

対　象：当該年度に競争的資金に申請し、面談審査（2次審査）の対象となったもの。

支　援：面談審査に要する旅費について支援（R3：実績なし）

備　考：先着順とし、予算額に達し次第終了
予算上限を超える場合、超過分は自己負担とする。

事業イメージ

✓ 面談審査における自己負担旅費をサポート

13.部門研究活性化支援制度

予算：4,787千円

■部門等に対し組織研究力向上に資する取組に対し重点支援することで、大学全体の研究力の強化を図る。

事業概要

対　象：研究域４部門＋原虫病研究センター

支　援：部門等長が提案する組織研究力の向上のための取組提案に対し学長の判断により、研究費を配分する。

（R3配分額：3,425千円）

備　考：各部門等の提案に対し、右記に示す「各部門等の実績に基づく予算配分額」の範囲内で予算措置する。

獣医学	xxx千円
生命・食料科学	xxx千円
環境農学	xxx千円
人間科学	xxx千円
原虫病研究センター	xxx千円

事業イメージ

14.新規採用助教に対する研究支援制度（新設）

予算：1,200千円

■研究力の向上を目的に新規採用助教を対象にした、外部資金獲得までの研究資金の支援制度

事業概要

対　象：本学に今年度新規採用された助教

支　援：外部資金獲得に向けた、研究遂行に必要な費用を支援

備　考：上限３０万円（予定）
予算上限を超える場合、超過分は自己負担とする。

事業イメージ